

次世代 FRUITS TOWN

うきは

うきは市の恵まれた
7大自然要素と未来への布石

The seven great
natural advantages and opening
moves for the future

数字で読み解く

うきはの魅力

1

農業産出額に占める
果実の割合は

34%

農業産出額に占める果実の割合の全
国平均は9%前後ですが、うきは市では
34%と高い水準になっています。

2

一直線に続く **23km**
耳納連山の稀有な特徴



うきは市を守る屏風山とも呼ばれており、台
風などの被害を防いでくれます。

3

一年中 **365日**
フルーツを収穫できる



耳納連山の山麓部には、四季を通じて、
様々なフルーツが豊かに実ります。

4

ぶどうの品種の多さ **41種類**



フランスのワイン産地と似た地理条件により、う
きは市では様々なぶどうが収穫できます。

7 うきはテロワール+ONE 大自 然 要 素



うきはテロワールとは？

テロワールとは、生育地の地理、地勢、気候の特徴をさすフランスで生まれた言葉です。環境によって個性が変わりやすいぶどうが原料となるワインの特徴としてよく使われています。うきは市はフランスのワイン産地ポルドーやアルザスとよく似た日本でも非常にめずらしい地質・地形を有していることもあり、うきは市の農業をとりまく環境を『うきはテロワール』と名付けました。

うきは市の恵まれた7大自然要素をご紹介します。そして7大自然要素にプラスするのは「人」の力。この豊かな地に人が集まり、農業を営むことで、うきは市に様々な交流が生まれ、うきはの魅力が未来へとつないでいくのです。

1 地形 耳納連山と扇状地

耳納連山の麓に広がるゆるやかな地形は複合扇状地と呼ばれています。ここは、日当たりが良く、水はけと保水性を両立した、農業に優しい地形です。400万年前から形成された扇状地や筑後川、巨瀬川はうきはの特徴であり、フルーツに適する風土を生み出しています。

2 気温 絶妙な温度バランス

丘陵地で逆転層と呼ばれる気象現象が起こると、空気層の上部では地表付近の空気より暖かくなります。四季を通じて気温の日較差もあり、冷えすぎない絶妙な温度バランスは、植物の成長、品質が向上する要因のひとつです。うきは市は、フルーツの生育にとって好適な気温帯を有する地域です。

3 土壌 作物が健全に育つ土地

扇状地は排水が良好で、深部の根まで呼吸が容易のため、果樹の生育に適しています。また、広い平野は、先人の偉業により豊かな水田地帯となりました。

4 風 心地よい山辺のそよ風

耳納連山の北側は最大風速が小さく、風の影響が少ない日本有数の微風地帯です。周辺地域よりも自然被害が少なく、フルーツの成長に適しています。

5 水 豊富なうきはの恵水

うきは市の地下水や湧水は多くの日本名水百選と同様のアルカリ土類炭酸塩です。阿蘇の火山灰層を挟んだ帯水層により、不純物がろ過され、岩石がもつミネラル分を含んだ美味しい水になっています。

6 雨 るり色の雨による水分補給

適度な夕立があるため、果樹の水分補給と暑さの調整が可能です。湯水期の干ばつ防止にもつながります。

7 地理 筑紫の玄関

うきは市は筑後川が筑紫平野に流れこむ玄関口です。景観に優れた豊かな穀倉地帯を有し、地理的にも都市圏に近いという利点があります。



データでわかる!

うきははテロワール

うきははテロワールの特徴的なデータをご紹介します。

うきは市は日本でも有数の微風地帯

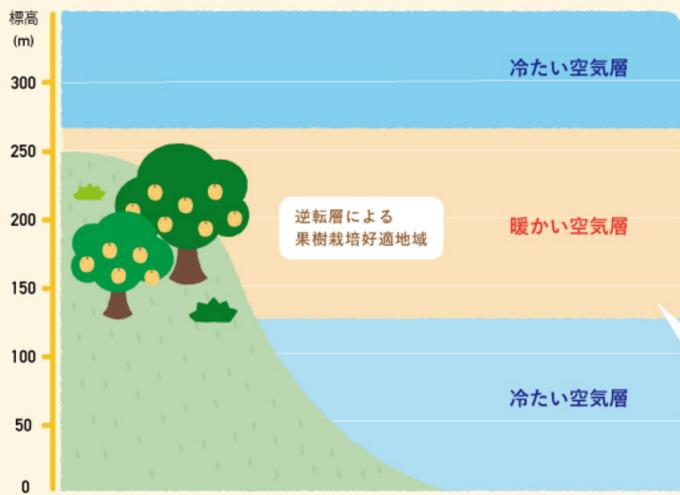
微風は果樹の過度な蒸散を抑えて、光合成を最適に促進。外観の綺麗な果実の肥大成長に寄与します。



※気象条件 (30年平均; 平年値)、気象庁データより

うきは市の逆転層と日較差

うきは市では逆転層がよく発生し、フルーツを霜害から守ることができます。



うきは市は日較差が大きい!

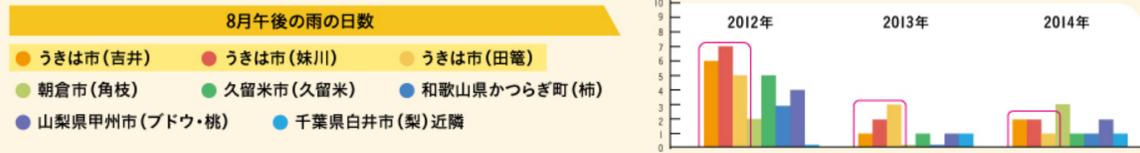
POINT 01
日較差が大きいと、フルーツが引き締まり、味に深みがでます!

逆転層ってなに??

POINT 02
大気中では通常、高度が高くなると気温が下がりますが、風が弱い時、逆に高いところに地表よりも温度の高い層ができることがあり、これを逆転層といいます。

うきは市の適度な夕立(恵水)

8月の午後5時以降に5mm/h以上の雨が降った日数は、近隣や果樹産地と比較して多いものとなっています。



地球温暖化にも対応できるうきは市の気温

地球温暖化が農業へ深刻な被害をもたらすと言われています。熟期遅延や眠り病などはそのひとつです。そうした被害は、冬期において十分な低温(7.2度以下)遭遇時間の確保ができないことから発生します。しかし、うきは市では十分な低温遭遇時間の確保が可能です。

さらに! 2月の平均最低気温が **1°C** を下回る

眠り病ってなに?

急激な地球温暖化により冬の低温遭遇時間が不足し、発芽不良を起こすことです。

POINT

自発休眠覚醒が早く、他地域より早い促成栽培が可能!



複合扇状地の適度な保水性と水はけの良さ

POINT 01
植物に必要な水分を、常に保持できます。

POINT 02
扇状地を作る礫層は、適度な保水性と水はけの良さを兼ね備えています。

土質分類	粒径 (mm)	透水係数 (cm/sec)
粗砂シルト (表面)	0.02	4.00×10^{-5}
	0.03	8.50×10^{-5}
	0.04	1.75×10^{-4}
微粒砂 (深度2m以下)	0.18	6.85×10^{-3}
	0.20	8.90×10^{-3}

ミネラル分を含んだうきは市の美味しい水

うきは市は自然な濾過装置が整っています。50年以上の時を経て岩石がもつミネラルが溶けこんだおいしい水は、うきは市の自慢です。

- 大石CC
- 吉井CC
- 田籠CC
- 清水湧水
- 小塩CC
- 千年CC
- 妹川CC
- 新川CC
- やまんどん湧水
- 福富CC
- 御幸CC
- 山春CC
- 江南CC

うきはの地下水、湧き水計13地点は、日本名水百選である清水湧水と同様のアルカリ土類炭酸塩Ca(HCO₃)型である。

※CC: コミュニティセンターの略

太古から続くうきはの歴史と農業



つまり!!

肥沃な土地ゆえに人が集まっていた“うきは”は、太古より多くの民が生活し、生業としての農業があった。

筑後川が流れをいろいろな場所に変え、土砂が堆積し、自然堤防を形成。そこに集落が発達し、河川の氾濫などによって流れ出た礫質土によって形成された平野が筑後川からの水と併せ、米や麦・野菜の生育に適した農地となり利用されていきました。

ONE

“うきは”を、農業のまちに変えた先人の努力と偉業

350年前の五庄屋の果たした偉業

江戸時代初期、大河からの直接大量取水計画をたて、75haの灌漑に成功。暴れ川の異名を持つ筑後川からの水路開削は、国内でも例を見ないほど大胆な構想でした。それが今日のうきは市の基幹産業である農業の礎を築いたのです。

開削された大石用水路は平成18年に疎水百選に認定

果樹栽培の歴史的発展の要

昭和27年春、初代会長を上野速実氏として流川柿研究会が発足。栽培技術の研鑽によりその後の果樹栽培の歴史的発展を遂げる一因となりました。昭和33年には計画密植の機運の高まり、昭和48年から柿の冷蔵保存が本格化されるなど、柿栽培はいよいよ大規模化します。

JA、農家の工夫・努力

うきはテロワールの自然の恵みは、うきは農業に大きな恩恵をもたらしましたが、土壌改良や施肥、灌漑施設の整備、品種改良、剪定作業など、福岡県をはじめ多くの農業技術指導者の皆様、JAや農家の方等のたゆまぬ工夫や努力により、うきは農業は発展を遂げました。現在も意欲的な農家が多く、うきは農業は元気だという声も聞かれます。

うきは農業の取り組みと明るい未来

自然条件+熱心な農家=うきは農業

九州大学発の若菜准教授ら開発の新品種、種なしブドウ「BKシードレス」の栽培

九州大学大学院農学研究院とうきは市は、平成26年9月22日、九州大学育成ブドウ新品種「BKシードレス」の栽培及び加工に関する協定を締結。開発した若菜准教授は、自然条件に恵まれ、熱心な農家が多いうきは市を普及栽培地として選びました。



うきは農業の明るい未来

01 うきは産フルーツのブランド化推進

うきは市では江戸時代から砂糖が生産され、麦の生産が始まってからは製粉業が発達、現在は多くの菓子店が店を連ねています。近年では、ブランド化に向け都市部の大手百貨店と連携し、うきは産フルーツを活かした新しい手みやげの共同開発を行っているほか、自然の恵み豊かなうきは産フルーツをふんだんに使ったお菓子などを全国へ積極的にPRし、ブランド化を推進しています。



02 世界へ届ける「うきはフルーツ」

「九州の魅力を世界に発信する」というコンセプトのもと作られたクルーズトレイン「ななつ星」。世界中から乗客の集まるこの列車が、世界に誇る九州の特産品として発信する「ななつ星セレクション」にうきはのフルーツも選定されています。ななつ星がうきは駅に停車すると、車内でうきはの旬のフルーツがふるまわれるのです。



03 大きな集客力を誇る 二大直売所

2016年じゃらん道の駅ランキング1位!

地方活性化の拠点となる「重点道の駅」に、県内で最初に「道の駅うきは」が選ばれました。また、地元で採れたての農作物や手作り惣菜が大好評の「道の駅うきは」は、九州じゃらん6月号「道の駅満足度ランキング2016」で堂々の1位を獲得。利用者も年々増加しています。そして、「にじの耳納の里」は2013年～2016年で、4年連続福岡県農業直売所連絡協議会及びJA農産物直売所ブランド認定委員会で「金賞」を受賞しています。

